

みやぎ梅花

題字は曹洞宗宮城県宗務所梅花講長 伊藤守弘

宮城梅花 令和6年. 5. 25. 発行 第57号

発行所 曹洞宗宮城県宗務所
〒981-3117
仙台市泉区市名坂字榎町169-4
TEL 022-218-3801 FAX 022-218-3803



峰の色

溪の響きもみなながら

我が釈迦牟尼の

声と姿と

大本山永平寺第一番御詠歌

(溪声)

『写真と歌詞』

元梅花流特派師範

真源寺住職 齋藤 政裕

齋藤政裕先生には、今年も素晴らしい写真と文章を賜りました。

写真とテーマ解説の全文は、6ページに掲載させて頂きましたので、ぜひご覧下さい。



新緑全山に萌え、百鳥樹林にさえざる好時節、各講員の方々の皆様方には、ますますの御慶び申し上げます。常々宗務所梅花講また各講発展の為に、深いご理解とご協力をいただきありがとうございます。昨年、世界中を震撼させたコロナウイルスも終息となり、五月の連休明けからは日常が戻り安堵致しました。コロナ禍による四年間の事業延期または中止による影響は、現在も散見しておりますが、評議委員会を始め関係各位のご理解により、梅花主事を中心に事業を実施してまいります。宗務所では数年前より機構改革が審議され、宗務行政のスリム化が検討されております。令和五年に東京で開催

された梅花流創立七十周年記念大会も従来の大会に比するとコンパクトな形態での開催となりました。このことに習い、宮城県での記念大会もコンパクトながらも千人以上の参加申込みをいただき無事円成することが出来ました。しかしながら、今後の全国大会は隔年の開催となったことを受け、宮城県大会も令和六年は実施しますが、次回大会からは隔年開催として令和八年を考えております。また、本年二月に開催した一泊二日の特別講習会は百名を超える講習会となり、参加された講員の方にも大変好評で主催者として大変嬉しく思いました。

講習等は希望に応じて開催を予定しております。宜しくお願ひ申し上げます。本年は瑩山禅師様七百回忌のご勝縁をいただきました。曹洞宗管長南澤道人禅師は、令和六年度「布教教化に関する告諭」の文中、『瑩山禅師は「必ず和合和睦の思いを生ずべし」と示されました。和合調和を乱すのは、何時の世も人間の我利・我欲、すなわち貪りであります。(中略)合掌は、御仏に自らを重ね合わせることであります。(中略)和合のみ心を我が心、和合のみ教を我が行いとして、太祖様にまみえようではありませんか。』とお示しであります。各講員様方や寺族様方のご指導の下、講員様方と共に「お誓い」の如く、正しい信仰に生き、仲よい生活をし、明るい世の中をつくることこそ、太祖様のお示しにかなう姿であると存じます。共々にご精進されんことをご期待申し上げます。各講の益々のご発展と講員皆様方のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。



清興 南こうせつさんミニコンサート

令和五年十月三日、仙台サンプラザホールにて創立七十周年記念奉讃大会が開催されました。本来は令和四年が七十周年の年でありましたが、コロナ禍を鑑み一年順延しての開催となりました。清興では南こうせつさんのコンサートで花を添えていただき盛會裡となりました。久しぶりの県大会ということもあり八〇〇名を超える参加者は登壇の緊張もありながらも多くの人が集まる大会に終始笑顔でお過ごしになりました。

梅花流創立七十周年記念
宮城県奉讃大会報告

梅花流創立七十周年記念 宮城県奉詠大会に参加して

第十八教区松岩寺講員
川本 あけみ

松岩寺梅花講は、平成元年に発足し現在に至るベテラン講員と、令和元年に発足した新米講員で構成される二つのグループがあります。発足時には五十名を超えたベテラン講員も今は十名弱となり、外部行事への参加は主に私たち新米講員に託され、昨年の宮城県奉詠大会には新米講員十四名、ベテラン講員二名が参加しました。登壇奉詠の課題曲は「誓願御和讃（全曲）」でした。当梅花講の月二回の練習会や第十八教区の講員さんとの合同練習は行いました。が、今回は第十七教区、二十教区との合同での登壇でした。全体での合同練習は叶わず、ずれる事無く皆さんと上手く合わせてお唱えできるか不安でしたが、詠題と詠頭は二十教区の講員さんが担当でしたので一安心でした。登壇奉詠は初めてでしたので、段取りやら作法やら不安だらけでした。当日は、厳かな雰囲気

の中肅々とプログラムが進み、割り当てられた登壇の順番は最後の師範・詠範の前の番だったので午前中は他の教区の登壇奉詠を聞きながら少しゆったりと過ごすことが出来ました。午後の部が再開されると慌ただしく登壇準備が始まり、並び順や何やらでバタバタして、緊張する間も無く登壇となりましたが、深呼吸をして（落ち着いて）と心の中で自分に言い聞かせ、詠題・詠頭を待ちました。ステージのライトが眩しくて客席が良く見えなかったのが緊張の緩和になりました。ずれないように、所作を合わせる様にと気に留めながらの奉詠でしたが、その時どうだったのかは覚えていません。あつという間の時間だったような気もしました。席に戻り師範・詠範の皆さんの奉詠を拝見し、所作がとても美しかった事を覚えていきます。

南こうせつさんのミニコンサートは懐かしい歌の数々に弾ける様に一緒に歌い楽しいひと時でした。そして閉会式で拝聴した、独詠による「浄心」は心に浸みわたる響きが忘れられませんか。日々の練習に精進し、少しでも上手にお唱えできる様に頑張りたいです。

特別講習会報告

令和六年二月二十八日、二十九日、ホテルニュー水戸にて特別講習会が開催され県内外の講師五名に講習をいただきました。夕食の懇親会では久しぶりにカラオケ大会も始まり、先生がたにも歌声を披露いただき大喝采となりました。一一〇名を超える参加者は二日間の有意義な時間を過ごされました。

楽しく、意義ある

特別講習会

第一教区明川寺講員

若生勝利、きよ子

私たちがお世話になっている明川寺講は最近新しいお仲間が増えて、総勢九名で活動しております。

当明川寺講では毎月二回、主に金曜日の午前中に講習を行っており、一月、八月、十二月の三カ月はお休みとなっております。

主な活動は春彼岸のお中日

に、えにし観音様の前で奉詠と八月盆供養での法要中にお唱えすることです。特になにに観音様の台座には様々なご事情でお祀りされる仏様がいらっしゃるの、そのご供養の一端を任されていることもあり、練習にも熱が入ります。

今回、コロナ禍前に参加していた特別講習会に約四年ぶりに参加致しました。

特に印象に残ったことは音の表情（のどを開く。舌根を下げる）です。例えば、アの音は口に指三本縦に入れて、感情的に豊かな声を出すなど音にも表情があることを知りました。また、閉講式での浄心（独詠）はとてもすばらしく、もう一曲ぐらい聞かせていただきたいかったです。

夕食の懇親会では明川寺講がカラオケのトップバッターを務めさせて頂き、他の講員さんも次々登場し大いに盛り上がりました。



明るい講員の皆様



永井 直心 師範

初めての宗務所講師

第十三教区 松巖寺

永井 直心 師範

先生方の歌も最高で舞台には次々おひねりが届き、それがすべて能登半島地震への義援金になさるといふことで、なるほどと感心致しました。その後、カラオケに行きご住職様と去年の秋に御本山修行を終えて帰ってこられたお弟子様とデュエットをしたり、ダンスをしたりして、こちらも盛り上がりました。あちらこちら身体が痛いところもあるのですが、御詠歌が生きがいの一つになっておりますので、病院やマッサージに通いながらも続けていきたいです。来年の特別講習会も楽しみにしております。

昨年、宮城県宗務所講師を拝命いたしました石巻市松巖寺永井直心と申します。九月には十六教区のみなさまに、十月には一教区のみなさまに、大変お世話になりました。初講習の不慣れな指導でしたが、講師のみなさまがたたく迎えてくださいました。講習が始まりますとみなさまに真剣な眼差しで取り組んでいただき、講師といたしましてありがたい時間を過ごすことができました。各梅花講で日々、講師さん達が練習を重ねていることを感じる二日間でした。ほんの少しアドバイスをするだけで良い反応をくださり、さらに心のこもったお唱えをしていただきました。十六教区さんが初講習となりました。前日からの緊張で胃痛が始まり、気仙沼に向かう道中では土砂降りという悪天候：でしたが、会場に到着しますと和やかな雰囲気です。迎えてくださり、指導者養成所時代の恩師や同期に見守られながら、安心して講習をさせていいただきました。作法についてお伝えしますと、『先生、これでいいですか？』と何度も練習をしてくださるお姿が

大変印象に残っております。一教区さんでは、始めたばかりの方が参加してくださっていただきましたので、ベテラン講師さん達にご協力をいただき午前中の課題曲を変更し、「三宝御和讃」を練習いたしました。ベテランの皆さんには復習がてら強弱に重きを、新人さんには音と拍の基本を覚えてもらえるようにと、繰り返しお唱えしてもらいました。梅花流の凄いところは、同行同修、経験に関わらず、このように一緒に取り組めるところだと感じたひとときでした。わたしは詠範として約二十年ほど活動した後、自坊の後継者問題から出家し、現在に至ります。梅花と共に、私の四半世紀が過ぎました。修行中、辛いときには詠讃歌をお唱えし、心の支えにして自分を励ましておりました。大好きな梅花があつて本当に良かった！と、感じた修行期間であつたと思っております。これから多くの講師さん達にお会いできる日を楽しみに、わたしも勉強を続けて参ります！

梅花流詠讃歌が始まり七十年が経過した。その立ち上げには曹洞宗の教えを広く伝える事が目的だったと想像される。道元禅師や瑩山禅師の教え、また釈尊の生き方をわかりやすい言葉にして、檀信徒と共々にお唱えをする修行がそのスタートであるならば、今日の梅花講の在り方も自ずと見え



講長 東海 泰典 師

所感

第一教区松源寺講長 東海 泰典

きましよう。お線香を供えた時に一曲、家事をしながら一曲：どんな形でもいいですから梅花時間を楽しみながら、穏やかに日々をお過ごしください。

合掌

てくるものがあるだろう。

自分の口から出た言葉を一番初めに聞くのは自分の耳である。と教わった。お唱えを通じて尊い教えを一番先にみずから耳にする行為は布教の最先端ではないのか？

インドから中国そして仏教が日本に伝えられ、日本人に合った教えと日本文化と融合した布教は日本人の身に染み込んでいく形となって続いている。

北米や南米の信者は日本を懐かしんでいるのか、梅花が盛んに行われている。それは日本人としての琴線に触れるものが梅花流に潜んでいるかなのではと感じている。

時代に応じて布教や教化の方法も模索しなくてはならないが、今ある貴重な手段を工夫によって展開していくことを優先していくべきではないだろうか。

第二十二期養成所卒業生

第十三教区陽山寺講

柿崎 隆允 師範

私は、令和二年より四年間二十二期指導者養成所に

入所し梅花流詠讃歌を学ばせていただきました。

宗務所講習を受けるにあたっては師匠の勧めでありました。が、実家の父が梅花の師範をしていて、小さい頃から詠讃歌は身近な環境にあり、ためらいもなくはじめることができました。しかし、法具の作法、お唱えの仕方など事細かく定めてある作法は想像していたことよりも簡単なものではなく、頭の中が混乱したことを今でも覚えております。

宗務所指導者養成所に入った時期は、コロナウイルスがまん延し始めた年だったため、宮城県奉詠大会は中止が重なり修了する年によるやく開催され、大会に参加することができませんでした。

その時にお唱えした「太祖常済大師瑩山禅師御詠歌」は瑩山禅師の大きな慈悲であまねく人々を救済する願いを歌ったもので、コロナ禍で苦しい思いをされた方々や世の中で起きている事象すべての苦しみが救われていくことを願う気持ちでお唱えさせて頂きました。お唱えが終わり、顔を上げ会場を見渡すと、講員さん方からの視線はまさに慈悲の温

かさを感じ、優しさに包まれているように思いました。

梅花を通して仏の教えを学ぶと共に、檀信徒の方々に向き合っていく心を学んだと感じています。この四年間宗務所の皆様や詠讃歌を教えていただいた方々に感謝をし、これから日々研鑽して参りたいと思っております。



第二十二期養成所卒業生

第十七教区洞林寺講

三宅 真佑子 詠範

この春無事に、梅花流指導者養成所の上級課程を修了することができました。コロナ禍であっても可能な限り学びの場を作り、指導してくださった先生方、宗務所の皆様方、本当にありがとうございます。

て、共に学んだ養成所員の皆様の優しさと、毎回送り出してくれた家族の支えがあつて、学び通すことができました。今改めて、ありがたさと幸せをかみしめております。

振り返ってみると、最初は何も分からず、不安しかありませんでした。覚えることも、身に着けることも思い通りにはいかず、焦るばかりでした。しかし、先生方の懇切丁寧なご指導、さらには同じ志をもつ方々と机を並べ、共に学ぶ楽しさ、集う喜びも相まが、成長を感じることができました。さらには、心を落ち着けて、自分自身とじっくり向き合える大切な時間にもなっていました。

私の中で、この四年間はかけがえのないものとなりました。今後は、梅花のお誓いの精神を大切に、精進してまいりたいと思っております。



表紙説明

「峰の色 溪の響きもみなながら

我が釈迦牟尼の 声と姿と」



令和六年の幕開けは、元旦夕刻の、数千年に一度の発生確率と言われる壊滅的な能登半島地震に始まり、翌二日の、羽田空港に於ける航空機衝突の重大事故と、大変衝撃的な年初めでございました。又、ロシア・ウクライナ紛争をはじめイスラエルにおけるガザ地区の諸問題など、世界情勢的にも、また国内情勢的にも、多くの不安を抱えての年の初めではなかったかと思っております。又、世界的な温暖化の影響か、気候にも変動をきたしているようで、例年と比べ寒暖差が激しく、又、強風吹き荒れる日が多く感じたのは私だけではないと思います。そんな連日強風吹き続く二月のある日、隣町に行く近道の山道を走行中、道路近くの枝に、白いレジ袋が引っ掛かっているようなものを見つけました。車を止め、よく見ると、レジ袋ならぬ、鳥のフクロウでした。こちらを気にしているのか、しきり首をくるくる回しこちらを見ています。静かにレンズを出し、カメラに無事収める事が出来ました。

フクロウと言えば夜の鳥の印象が強い鳥です。実際、生活のほとんどが夜間で、昼は目をつむってひたすら休息し、日暮を待って、黒く大きな目を開け、ネズミなど小動物を獲物にして森の中で活動します。暗闇で獲物を探すため、耳

が普通の鳥類の数十倍発達しているといわれ、目で見なくとも耳だけで、獲物を捉える事が出来るともいわれています。しかしながら、強風吹き荒れる夜間は、風の音が影響し獲物を捕らえる事が出来なくなり、やむを得ず、不得意な日中に、眠そうな目しながら、餌探しをしているのです。背に腹は代えられないですものね。私にとってはとても幸運でした。

自ずと道元様の御歌「峰の色 溪の響きもみなながら 我が釈迦牟尼の声と姿と」

溪声の一節が 心に浮かんできました。心を澄まして世の中の色々な事象を見れば、有難い 尊いお釈迦様の教えとして心に響き、心に叶ってくるものでありましょう。

フクロウは、「ホウ、ホウ」と鳴きますが、これまたお釈迦様の説かれた「法、法」とも聞 聞こえますよね。またフクロウは（福朗）とも書き、福を呼んでくる幸福の鳥ともいわれています。皆様にとり、良い幸福な御年でありますよう心より祈念するもので御座います。

合掌

元梅花流特派師範

眞源寺住職 齋藤 政裕

合格おめでとう
ございます

令和五年度は次の方が宗務庁検定で合格されました。

二級師範

古川市 龍興院 高橋 恵 一

三級師範

石巻市 松巖寺 永井 直心

大崎市 光明寺 伊藤 大輝

一級教範

石巻市 満照寺 五島 さよ子

宗務所検定会お知らせ

二会場で開催致します。

教階が削減され課題曲の範囲が広くなりました。先生にご指導を仰ぎ十分勉強されてから受検して下さい。

十一月五日(火) 石巻市 法山寺様
十一月十三日(水)〜十五日(金)

宮城県宗務所

○検定料はお一人四千円

詳細は改めてご案内いたします。

宗務所講習会

今年度も希望教区にて開催します。

瑩山禅師七〇〇回大遠忌
記念特別昇等のお知らせ

瑩山禅師七〇〇回大遠忌を記念して、梅花講の発展に功績、功労があり他の範となる講員に対し、級階の特別昇等を行います。詳細は令和六年曹洞宗報四月号に掲載されますのでご確認下さい。

一、令和七年三月三十一日現在において、入講後二十年以上を経過した一級教範の教階を有する者のうち、年齢八十歳以上であるもの

二、令和七年三月三十一日現在において、入講後二十年以上を経過した二級教範の教階を有する者のうち、年齢七十歳以上であるもの

三、令和七年三月三十一日現在において、入講後二十年以上を経過した三級教範の教階を有する者のうち、年齢七十歳以上であるもの

※特別昇等は、ひとり一回、一教階の昇等に限り、越級はできません。

※特別昇等は、ひとり一回、一教階の昇等に限り、越級はできません。

令和六年度
特別講習会のお知らせ

期日 二月十七日(月)〜

午後〇時半 受付

十八日(火)

午後一時 解散

《一泊二日》

会場 秋保温泉ホテルニュー水戸屋

Tel 〇二二-三九八-二三〇一

受講料 ・ 宿泊 二万四千元

・ 日帰り 一万六千元

申込 詳しくは、後日各講宛にご案内いたします。

講師 県内及び県外講師

「太祖常済大師瑩山禅師 700 回大遠忌慶讃」 令和 6 年度 梅花流宮城県奉詠大会

1. 期 日 令和 6 年 10 月 9 日（水） 午後 12 時受付 午後 4 時散会予定
2. 会 場 マルホンまきあーとテラス 石巻市開成 1 - 8
3. 会 費 参加費 一人 金 5,000 円
寺院協賛金（任意）一口 金 10,000 円
4. 〆 切 7 月 31 日（予定）

☆詳しい要項は後日各講宛ご案内いたします。

☆申込後の会費は返却はいたしません。



登壇奉詠課題曲

★予定です

登壇順	教 区	課 題 曲	頁
1	養成所	太祖常済大師瑩山禅師御詠歌（紫雲替節）	45
2	⑰・18・20	太祖常済大師瑩山禅師誕生御和讃（1・3番）	127
3	⑭・15・16	太祖常済大師瑩山禅師修行御和讃（1番と4番の御詠歌）	137
4	13	太祖常済大師瑩山禅師第二番御詠歌（梅花替節）	57
5	4・5・⑥・19	太祖常済大師瑩山禅師入寂御和讃（1・3番）	145
6	1 2	太祖常済大師瑩山禅師讃仰御和讃（1・4番）	155
7	⑨・10	大本山總持寺第一番御詠歌（溪声替節）	65
8	③・7・8・11	太祖常済大師瑩山禅師影向御和讃（1・2番）	169
9	①・2・21	太祖常済大師瑩山禅師影向御詠歌（伝光）	171
10	師範・詠範	太祖常済大師瑩山禅師讃仰御詠歌（法灯）	159
		まごころに生きる	275

☆ 教典頁は、平成28年改訂第五版のものです。

☆ ○印は、合同登壇される組の、詠題・詠頭 担当教区です。